

サハリン事務所現地レポート

2017年1月

(件名) サハリンの除雪状況について

報告者：主査 高橋 澄大

昨年末より、北海道でも大雪の影響が問題となっていたが、今回はサハリンの除雪状況を取り上げたい。

○サハリン州政府の対応 [1月13日、16日サ州HPより]

1月13日、コジェミャコ知事は除雪が十分に行き渡っていないことを批判。15日、知事自ら早朝に除雪状況を確認。投入可能な全車両200台以上が除雪に充てられたことで、調査地の除雪が十分になされたことを確認。一方、未だ不十分なエリアがあることから、問題のある企業には制裁があると予告された。

○実際の生活実感(1月末現在)

【車道(大通り)】

・比較的頻繁に除雪されており、雪はほとんどない。ただし、今シーズンの降雪が少ないことも原因の一つ。

【集合住宅の駐車場】

・集合住宅では建物前に無造作に車が駐車されていることから、除雪の妨げになっている。

【車道(小道、横道)、歩道】

・降雪直後の朝は除雪が追い付かない。ただし、今シーズンは通勤に長靴を必要とすることはほとんどない。



集合住宅前の駐車場



レーニン通りの道路状況

(件名) 洗礼祭の清めの儀式視察

報告者：主査 高橋 澄大

1月18日から1月19日の深夜にかけて、ロシア全土で洗礼祭の清めの儀式が行われた。ロシア正教の故事に由来する当行事では、寒さにもかかわらず冷水を浴びる。サハリンでも各地で儀式が執り行われ、18日深夜には、サハリン州コジェミャコ知事も参加した。今回は19日昼にガガーリン公園で視察したものを報告する。

平日の昼にもかかわらず大勢の参加者や見物人で賑わっていたが、司祭一行がガガーリン公園に入ると厳粛な雰囲気。沐浴前に司祭による清めの儀式が行われた後、最初の一人目が沐浴。厳寒の中、沐浴を遂げた参加者には多くの取材陣がインタビューしていた。その後は、子供から高齢者まで老若男女を問わず水に入り、祈りを捧げた。沐浴を終えた参加者は震えながらも達成感を見せていた。万が一に備え、救急車やレスキュー隊も待機している。なお、厳寒の中沐浴した参加者は、一年中風邪とは無縁な生活を送ることができるとされている。



沐浴前に行われる儀式



子供や女性も参加